

地域おこし協力隊通信

第12回

一年を振り返りながら
白鷹生活2年目に突入

地域おこし協力隊 遠藤真弓

こんにちは。メガネと帽子の協力隊遠藤です。皆さん風邪などひいていないでしょうか？

私は協力隊として白鷹町に来てから一年が経ち、二年目に突入です。たくさんの方たちと出会い、色々なことを吸収した一年でした。

二年目はもっとと能動的に社交的にそして良い意味で楽観的に楽しく活動していきたいと思えます。

例えば、森を使った遊び場の創造（ツリーハウス）や気楽に立ち寄れる



コミュニティスペース作りなど。興味のある方はぜひ一緒に！

ほかに「これやりたい」「あれやりたい」などあったら、声をかけてください。できることがあればお手伝いしたいと思っていますのでよろしくお願います。

私の活動のメインとなる「しらか木の駅プロジェクト」のほうは、主に山を所有している方が対象なのですが、一般の町内の方にも周知されるような、皆で関われるような、そんな仕組み作りができないかと模索中です。

そんなこんなで二年目も引き続きよろしくお願います。

町報川柳 — 宝 —

夕べ見た宝の山が朝に消え
地図頼り宝探しに四苦八苦
夢でいい一度は乗りたい宝船
宝娘(こ)遠くに離れ親思う
平和願う日本の宝永久に
年輪を刻む笑顔も宝かな
子は宝孫も曾孫も健やかに
宝島地図を隠した夢の中
何時観ても日本の宝富士の山
孫の笑み大人の無言消す宝
ガラクタも孫にとつては宝物
宝物孫の元気な笑い声
宝くち又当らぬよ年の暮
身近にいる友、兄弟宝なり
夫婦(めおと)舟宝さがしてもう八十路
少子化で日本の宝は子供達
八十余渡世書いた日記は宝物
我が宝生きる原点白鷹に
生き字引孫に宝のお婆ちゃん
夢を買う当選願い宝くじ
子は宝老いて気がつく愛の味
町の宝イガ栗頭なでてみる
世に打ち勝つ事宝の心かな
宝くじビックな夢を追い続け
古物が宝に見えて狭い部屋
孫やころめごくで生ねきかずでも
結いいつの亡き旦那からの腕時計
子宝で人の輪広がり五十年
ひいばあちゃん宝子に架ける我が思い
当たる筈ない又買う欲の宝くじ
行間を宝の海にして読書
トランプは宝の山を知っていた
宝くじ当り外れわ運まかせ
孫宝大きくなって人助け
宝石より子宝欲しい過疎の村
判ってるけれどまた買う宝くじ
毎日の家族円満宝です
近く住み顔を見せるも宝です

長井市 安部ありな
高岡 安部 健一
武蔵野市 池田 武子
山口 石川與次衛門
荒砥甲 五十公野かをる
荒砥乙 五十公野春己
世田谷 糸 マサ
鮎貝 植木 英夫
浅立 梅津 太一
浅立 梅津美千子
滝野 海老名きち
世田谷 遠藤 八重
横須賀 大滝健次郎
荒砥乙 木口 とよ
菖蒲 小関 弘
山口 児玉 保子
萩野 紺野 五月
つくば市 斎藤 靖夫
鮎貝 佐藤 幸子
鮎貝 神保 玲子
箕和田 鈴木 トミ
荒砥甲 鈴木美貴子
十王 平 恒人
高玉 高橋 朝子
荒砥乙 土谷 灯一
箕和田 土屋 平敏
箕和田 土屋 敏子
荒川区 戸村 絹代
広野 新野智耶子
高玉 橋本つね子
箕和田 樋口 昭吉
荒砥乙 保科 努
ふしみ野 村上 桂造
十王 松田 久一
十王 守谷 勝助
十王 守谷 三郎
鮎貝 横沢 直太
山口 渡部喜美子

次回「世」二月二十五日まで。 「本」三月二十五日まで。
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛